

リサイクル計画書 (詳細設計)

1 設計概要

発注機関名	
委託名	
履行場所	
設計概要等	
工事着手予定時期	

2 建設資材利用計画

建設資材	利用量	現場内利用量	再生材利用量	再生材利用量	再生資源利用率	備	考
土	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	地山m <sup>3</sup>	( + ) / × 100		
砂	トン	トン	トン	トン	%		
石	トン	トン	トン	トン	%		
アスファルト混合物	トン	トン	トン	トン	%		
	トン	トン	トン	トン	%		

最下段には、その他の再生資材を使用する場合に記入する。

3 建設副産物搬出計画

指定副産物の種類	発生量	現場内利用量	他工事への搬出可能量	再資源化施設の搬出可能量	最終処分量	現場内利用率	備	考
建設発生土	地山m <sup>3</sup>	%						
建設発生土	地山m <sup>3</sup>	%						
建設発生土	地山m <sup>3</sup>	%						
建設発生土	地山m <sup>3</sup>	%						
泥土(浚渫土)	地山m <sup>3</sup>	%						
合計	地山m <sup>3</sup>	%						
コンクリート塊	トン	トン	トン	トン	トン	%		
アスファルト・コンクリート塊	トン	トン	トン	トン	トン	%		
建設発生木材	トン	トン	トン	トン	トン	%		
建設汚泥	トン	トン	トン	トン	トン	%		

建設発生土の区分(既存資料から判断するものとする)

第1種建設発生土...砂、礫及びこれらに準ずるもの。

第2種建設発生土...砂質土、礫質土及びこれらに準ずるもの。

第3種建設発生土...通常の施工性が確保される粘性土及びこれらに準ずるもの。

建設発生木材の中には、伐開除根材及び剪定材を含む。

利用・搬出可能量は、現時点で算出可能なものを記載する。

建設副産物の搬出計画について、基本的には全量を再利用することを原則として計画する。

第4種建設発生土...粘性土及びこれらに準ずるもの。(第3種建設発生土を除く)

泥土(浚渫土) ...浚渫土のうち概ねqc2以下のもの。